

# 降水量ト流出量トノ關係

言討 言議 土木學會誌 第二卷第一號 大正五年二月

工學博士 近藤 仙太郎

降水量ト流出量トノ關係ナル論說ノ第二編トシテ雄物川ニ於ケル流出關係ニ付著者ハ詳ニ論セラレタリ是レ實ニ有益ナルモノニシテ斯ノ如ク精細ニ其ノ關係ヲ論シタルモノ我國ニ於テ未ダ少ナク大ニ其ノ勞ヲ感謝スル所ナリ尙ホ此ノ上ニ著者ヲ煩ハスハ遺憾ナレトモ斯道ノ爲ニ左ノ事項ニ付若シ説明ヲ與ヘラルレハ幸甚トス

第十二表即チ雄物川ニ於ケル毎月流出係數表ノ註釋中ニ最小ハ最大ノ如ク規則正シカラス二月ニ三回、六月及九月ニ各一回宛十月ニ二回、十一月ニ三回、十二月ニ一回起レルヲ見ル云々トアレトモ表中ニハ六月ニ二回、九月ニナクシテ八月ニ一回、十月ニ三回ニシテ十二月ニハナキ様ナリ如何ニヤ

流出關係ノ比較ニハ中央歐洲ニ於ケル河川ニシテ其ノ流出關係ヲ見出シタル地點以上ニ於ケル流域ノ面積流域内ニ山地ヲ有スルノ點等ニ於テ最モ多ク我雄物川流域ニ類似セルノ故ヲ以テとらうん及えんすノ二川ヲ採用サレタルカ此ノ二川ノ大體ノ勾配ハ雄物川ノ其レト比較シ如何ナルモノナルヤ(完)